

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2012年12月23日 聖日礼拝

---

クリスマス講壇

「神をあがめ、  
賛美しながら」

ルカの福音書2章8－20節

竿代照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### ルカの福音書 2章8-20節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp100/ 第三版の聖書はp109～

- 8 さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていた。
- 9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。
- 10 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせに来たのです。

- 11 きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。
- 12 あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておられるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのためのしるしです。」
- 13 すると、たちまち、その御使いといっしょに、多くの天の軍勢が現れて、神を賛美して言った。

- 14 「いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。」
- 15 御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼いたちは互いに話し合った。「さあ、ベツレヘムに行って、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見て来よう。」
- 16 そして急いで行って、マリヤとヨセフと、飼葉おけに寝ておられるみどりごとを捜し当てた。

- 17 それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について告げられたことを知らせた。
- 18 それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに驚いた。
- 19 しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、思いを巡らしていた。
- 20 羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った。

# 説教

## 聖誕節講壇

### 「神をあがめ、 賛美しながら」

ルカの福音書2章8-20節

竿代照夫 牧師



主テキスト:

「羊飼いたちは、見聞きしたことが、  
全部御使いの話のとおりだったので、  
神をあがめ、賛美しながら帰って行った。」

(ルカ2:20)



# 始めに：ルカの記録の信頼性

## A. 羊飼いの受けた知らせ

### 1. 全ての民に及ぶ大きな喜び

- ・全イスラエルの待望が成就
- ・全世界に齎される喜び

## 2. キリストが誕生した

- ・メシアとは「油注がれたもの」  
(ギリシャ語ではキリスト):  
王、祭司、預言者の三つの職を  
兼ね備えた「救い主」
- ・(ダビデの出身地)ベツレヘムの  
羊飼いのメシア待望

### 3. 誕生は「今日、ダビデの町で」

- ・将来ではなく「今日」
- ・他の場所ではなくベツレヘム(ミカ5:2)

## 4. みどりごは飼葉桶に眠る

- 飼葉桶とは：洞窟の動物小屋の壁に  
掘り込まれた餌台
- 飼葉桶に眠るみどりご：  
見つけるための「しるし」

## B. 御使いの話のとおり

1. 行った
  - ・直ちに行動した。
  - ・みどりごを捜し当てた
2. 見た
  - ・知らせを人々に告げた
  - ・知らせの通りであることを  
確認した
3. 喜んだ
  - ・真実であり給う神を崇めた
  - ・その神を賛美しつつ帰った

おわりに:

生涯のすべてを「御言の成就」と  
捉えられないだろうか？